

令和8年度

# 吉岡中学校の学習案内

## 第1学年



熊谷の子どもたちは、これができます！

- ① 朝ごはんをしっかり食べる。
- ② 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④ 友だちをたくさんつくる。

熊谷市立吉岡中学校

# 学習案内(シラバス)

## 1 学習案内(シラバス)とは

学年ごと、教科ごとの学習目標や計画、学習評価の方法などを示したものです。

## 2 学習案内(シラバス)の役割

### (1)授業の「羅針盤」となる

それぞれの教科でいつ、どんな学習をするのかがわかります。

### (2)学習の効果を高める

1年間や各学期で、その日の授業がどこに位置づけられているのかを確認したり、授業のねらいや学習する内容を把握したりすることで、学習効果をさらに高めることにつながります。また、家庭学習で予習をする時に見通しをもつことができます。

### (3)よい学習環境をつくる

教師はシラバスに沿って授業を進めることで生徒への約束となり、生徒はシラバスの内容を理解することでよい学習環境をつくることにつながります。

### (4)保護者に授業の雰囲気伝え、教師は授業をデザインする

保護者の方々にとっては授業の雰囲気を知ることにつながり、教師にとっては意図的、計画的に授業を進めることにつながります。

学力向上に向け、お子様と保護者でぜひ本冊子をご活用ください。

## 第1学年 国語科 学習案内

	単元名・教材名	学習内容	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くということ</li> <li>・春の詩</li> <li>・桜蝶</li>   <li>・硬筆</li> <li>・言葉の単位</li> <li>・自分の脳を知っていますか</li> <li>・ベンチ</li> <li>・全ては編集されている</li> <li>・持続可能な未来を創るために</li> <li>・森には魔法つかいがいる</li> <li>・文の成分</li> <li>・昔話と古典</li>   <li>・物語の始まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現に即した読み取り方</li> <li>・春の詩の創作・表現技法</li> <li>・登場人物の心情の変化、語り手による物語の違い</li> <li>・漢字と仮名の調和</li> <li>・文章、段落、文、文節、単語</li> <li>・文章の構成や展開のとらえ方と要旨</li> <li>・人権と平和、情報の集め方</li> <li>・情報についての考え方ととらえ方</li> <li>・持続可能な社会の実現とその課題</li> <li>・説明文の基本的な構成と展開 序論、本論、結論</li> <li>・主語、述語、修飾語 など</li> <li>・川柳と昔話、歴史的仮名遣い</li> <li>・「竹取物語」かぐや姫と人々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉から自分と相手を理解する。</li> <li>○詩を作り、掲示物を作成する。</li> <li>○行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。</li> <li>○硬筆展手本で縦書きの仕方を学ぶ。</li> <li>○5つの言葉の単位について理解する。</li> <li>○意見と根拠、中心と付加的部分、事実と意見などの関係について理解する。</li> <li>○必要な知識や情報を集め活用する。</li> <li>○文章や映像などに表されている情報の関係について理解する。</li> <li>○持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。</li> <li>○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。</li> <li>○5つの文の成分の役割を理解する。</li> <li>○歴史的仮名遣いにふれながら、古典には様々な作品があることを知る。</li> <li>○仮名に注意して音読し古典に親しむ。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・故事成語</li>   <li>・百人一首</li> <li>・蜘蛛の糸</li> <li>・河童と蛙</li>   <li>・オツベルと象</li>   <li>・子どもの権利</li>   <li>・書きぞめ</li> <li>・言葉がつなぐ世界遺産</li> <li>・単語のいろいろ</li> <li>・四季の詩</li> <li>・少年の日の思い出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「矛盾」「助長」の故事と意味 漢文訓読のきまり</li> <li>・百人一首の歌を知る</li> <li>・犍陀多とお釈迦様の心情</li> <li>・表現の特徴</li> <li>・詩の構成・表現技法</li> <li>・登場人物の心情</li> <li>・場面の移り変わり</li> <li>・論理の構成や展開、筆者の主張</li> <li>・書初め用紙と行書の筆使い</li> <li>・問いと答え、事実と意見、要旨</li> <li>・自立語と付属語、活用、単語</li> <li>・詩に描かれたイメージ</li> <li>・登場人物の心情の読み取りと主題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢文訓読の仕方を理解して音読し、漢文に慣れる。</li> <li>○かるた取りを行い、古典に親しむ。</li> <li>○日本を代表する作家と作品にふれる。</li> <li>○詩の表現技法を理解し、構成と表現の効果について考える。</li> <li>○語句の意味やオノマトペの効果を考え、人物の心情と内容を理解する。</li> <li>○専門的な語句の意味と文章構成を考え内容を理解し、筆者の主張を読む。</li> <li>○書きぞめ手本で行書を大きく書く。</li> <li>○事実と意見の関係に注意して読み、筆者の考えをとらえる。</li> <li>○基準を理解して品詞を分類できる。</li> <li>○表現技法とその効果を考える。</li> <li>○言葉や語句の意味に注意して語彙を豊かにし、自分の考えを確かにする。</li> </ul>

○評価について

観点別評価（A・B・Cの3段階）を統合して評定する（5・4・3・2・1）。

評価の観点	(ひとつの) 具体的な例	方法等
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きや文法を理解している。</li> <li>・書写等の作品を丁寧に仕上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字テスト、文法テスト</li> <li>・硬筆作品、毛筆作品、掲示物</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを全員に聞こえる声でスピーチしている。</li> <li>・学習した文章構成を使って文章を書いている。</li> <li>・文章を正確に読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ、聞き取りテスト</li> <li>・授業中の発表、発言、聞く態度</li> <li>・課題作文、読書感想文</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に熱心に取り組む前向きな発言をしている。</li> <li>・ノートやワークを期限内に仕上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記述内容、ワーク</li> <li>・授業に取り組む姿勢や発言</li> <li>・提出物の状況、自己評価表</li> </ul>



# 令和8年度 第1学年 社会科 学習案内

## 1 主な年間計画

学期	分野	単元名	主な学習のねらい	主な学習内容
前期	地理	○ 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解させる。</li> <li>日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観させ、理解させる。・世界的な視野から日本の位置の特色に着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> <li>人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置地域区分</li> <li>日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分</li> <li>日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、国内の地形、気候の特色、自然災害と防災への努力、日本の自然環境に関する特色</li> </ul>
		○ 日本の姿		
後期	歴史	○ 世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。</li> <li>日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の区分、年代の表し方、時代区分</li> <li>世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化、当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかわり</li> </ul>
		○ 歴史へのとびら		
	地理	○ 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州、アフリカ州、オセアニア州、ヨーロッパ州、南アメリカ州、北アメリカ州の各州に暮らす人々の生活の様子、地理的事象</li> </ul>
		○ 世界の諸地域		
歴史	○ 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動、武家政治の特色、武士の台頭、東アジア世界との密接なかわり</li> </ul>	
	○ 中世の日本			

## 2 評価と評定について

観点別評価（A・B・Cの3段階）を統合して評定（1・2・3・4・5の5段階）をします。

評価の観点	具体的な例	方法等
○ 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>2枚の写真から衣服の違いを読み取り、その共通点と相違点の背景について説明している。（地理）</li> <li>明治維新の目的とそれが果たした役割について説明している。（歴史）</li> <li>国会、内閣を中心とする我が国の民主政治の仕組みとその意味を理解している。（公民）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>課題やレポートの内容</li> <li>小テスト</li> <li>ワークの提出物の提出状況等</li> </ul>
○ 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観写真と文章資料から宗教と気候に関する情報を読み取り、地図上で写真が撮影された地点を特定する。（地理）</li> <li>明治維新の目的やねらい、背景や影響、原因や結果などについて多面的・多角的に考察し、表現している。（歴史）</li> <li>社会をよりよいものにするために、最終的に決定する権力をもっている私たちはどのように政治に関わるのがよいか、考察、構想し、表現している。（公民）</li> </ul>	
○ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習を振り返って、関心をもち、さらに調べたいことや、よく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。（地理・歴史）</li> <li>単元の学習後も関心をもって自ら追究し続けたい、解決、改善を図っていきいたいこととして見出した、問いの内容とその社会的意義について記述している。（公民）</li> </ul>	

## 3 社会科からのお願い

家庭で新聞やニュースに触れる機会や、それについて話題にする機会を意図的に増やしていただければと思います。その際、ニュースに対するご家庭の考えをお子様に伝え、お子様の考えも聞いていただきたいです。授業では、生徒の意見を交流する場面を増やしていますので、ご家庭でも社会に関心を持つよう働きかけていただければと思います。

# 第1学年 数学科 学習案内

	学習内容	学習のねらい
前 期	1 正の数・負の数 ・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算 ・素数の積で表すこと ・正の数・負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正の数と負の数の必要性和意味を理解すること</li> <li>・正の数と負の数の四則計算すること</li> <li>・具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること</li> <li>・算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現すること</li> <li>・正の数と負の数を具体的な場面で活用すること</li> </ul>
	2 文字の式 ・文字を使った式 ・文字の計算 ・関係を表す式 ・文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を用いることの必要性和意味を理解すること</li> <li>・文字を用いた式における積と商の表し方を理解すること</li> <li>・簡単な一次式の加法と減法の計算をすること</li> <li>・数量の関係や法則など、文字を用いた等式や不等式に表すことができることを理解し、文字式を用いて表したり、文字式を読み取ったりすること</li> <li>・具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現すること</li> </ul>
	3 方程式 ・方程式 ・方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること</li> <li>・簡単な方程式、比例式を解くこと</li> <li>・等式の性質を基にして、方程式を解く方法を考察し表現すること</li> <li>・方程式、比例式を具体的な場面で活用すること</li> </ul>
	4 変化と対応 ・関数 ・比例 ・反比例 ・比例・反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数関係の意味を理解すること</li> <li>・座標の意味を理解すること</li> <li>・比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと</li> <li>・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること</li> <li>・比例、反比例について理解すること</li> <li>・比例、反比例の関係を表、式、グラフに表すこと</li> </ul>
後 期	5 平面図形 ・直線と図形 ・移動と作図 ・図形の移動と基本の作図の利用 ・円とおうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行移動、対称移動及び回転移動について理解すること</li> <li>・線分の垂直二等分線、角の二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること</li> <li>・おうぎ形の弧の長さとおうぎ形の面積を求めること</li> <li>・図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考察し表現すること</li> <li>・図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現すること</li> <li>・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用すること</li> </ul>
	6 空間図形 ・いろいろな立体 ・空間内の平面と直線 ・立体の構成 ・立体の表面積と体積 ・球の計量 ・空間図形の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間における直線や平面の位置関係を理解すること</li> <li>・基本的な柱体や錐体、球の体積と表面積を求めること</li> <li>・立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、立体を平面上に表現したりして、平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすること</li> <li>・立体の体積や表面積の求め方を考察し表現すること</li> </ul>
	7 資料の活用 ・ヒストグラムと相対度数 ・度数分布 ・代表値と散らばり ・確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること</li> <li>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること</li> <li>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解すること</li> <li>・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること</li> <li>・多数の観察や多数回の試行結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現すること</li> </ul>

## 【評価について】

評価の観点	具体的な例	方 法 等
知識・技能	「空間図形」では、直方体の1つの辺とねじれの位置にある辺がいえる。 「文字の式」では、 $(2a+4)-(3a-5)$ の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取組や発表</li> <li>・小テスト、単元テスト、定期テスト</li> <li>・ワークシート、ノートの記述事項 など</li> </ul>
思考・判断・表現	「方程式」では、方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取組や発表</li> <li>・単元テスト、定期テスト</li> <li>・ワークシート、ノートの記述事項 など</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	「変化と対応」では、身のまわりから、比例関係になっている場面を見つけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の取組や姿勢、発表</li> <li>・提出物（ノート、ワーク、復習プリント）など</li> </ul>

# 第1学年 理科 学習案内

	章	主な学習活動
前 期	単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた 第2章 植物の分類 第3章 動物の分類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような特徴に注目して、どのような方法で生物を観察すればよいか考える。</li> <li>・生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類することができるか考える。</li> <li>・花のつくりには、どのような共通点があるか調べる。</li> <li>・果実をつくらない植物の花は、果実をつくる花とどのような共通点や相違点があるか調べる。</li> <li>・植物を葉脈や根で分類するには、どのような特徴に注目するとよいか調べる。</li> <li>・種子をつくらない植物のからだのつくりとふえ方には、どのような特徴があるか調べる。</li> <li>・植物の特徴を図や表にまとめて植物を分類する。</li> <li>・動物を分類するとき、からだのつくりのどこに注目するとよいか考える。</li> <li>・脊椎動物は、どのようなグループに分類できるか考える。</li> <li>・無脊椎動物の分類では、からだのつくりのどこに注目し、どのように分類できるか考える。</li> <li>・動物を適切に分類するための表を作成する。</li> </ul>
	単元2 身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質 第2章 気体の性質 第3章 水溶液の性質 第4章 物質の姿と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物体が何という物質でできているかを見分けるには、どのような方法があるか考える。</li> <li>・金属と非金属の性質のちがいを調べる。</li> <li>・さまざまな金属は、質量で区別できるか調べる。</li> <li>・見分けにくい粉末状の物質の種類を知るには、どのようにしたらよいか考える。</li> <li>・身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。</li> <li>・気体の性質によって、気体の集め方はどのように変えたらよいか考える。</li> <li>・物質が水にとけるとは、どのようになることか考える。</li> <li>・水にとけている物質をとり出すため、水を蒸発させる以外にどのような方法があるか調べる。</li> <li>・身のまわりの物質も水のように姿を変えるか考える。</li> <li>・物質が状態変化するとき、体積や質量はどうなるか調べる。</li> <li>・液体どうしの混合物を分けるには、どのようにすればよいか調べる。</li> </ul>
後 期	単元3 身のまわりの現象 第1章 光の世界 第2章 音の世界 第3章 力の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物体を見ることができるとき、光はどのように目に届いているか考える。</li> <li>・光が鏡などの物体で反射するとき、光はどのように進むか調べる。</li> <li>・光が透明な物体を通りぬけると、光はどのように進むか調べる。</li> <li>・凸レンズによる像のでき方には、どのような決まりがあるか調べる。</li> <li>・振動している物体から出ている音は、どのように伝わるか考える。</li> <li>・音の大きさや高さや音源の振動には、どのような関係があるか調べる。</li> <li>・力は、どのようなはたらきをするか考える。</li> <li>・ばねを引く力とばねののびには、どのような関係があるか調べる。</li> <li>・物体にはたらく力は、どのように表すことができるか考える。</li> <li>・2つの力が1つの物体にはたらくのに物体が動かないとき、2つの力にはどのような関係があるか調べる。</li> </ul>
	単元4 大地の変化 第1章 火をふく大地 第2章 動き続ける大地 第3章 地層から読みとる大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地形や地層、岩石を観察し、その特徴を記録する。</li> <li>・マグマの性質のちがいは、火山の噴火のしかたや火山の形とどのように関係しているか考える。</li> <li>・火山灰は、どのような物でできているか調べる。</li> <li>・火成岩はどのような特徴をもっているか調べる。</li> <li>・火山は私たちの生活に、どのような影響をあたえているか考える。</li> <li>・震源で発生したゆれは、どのようにして伝わるか調べる。</li> <li>・地震は、どのようなところでどのようにして起こるか考える。</li> <li>・地震によって生じた現象と被害には、どのような関係があるか考える。</li> <li>・れき、砂、泥は、どのようにして、地層をつくるか調べる。</li> <li>・それぞれの堆積岩にはどのような特徴があるか調べる。</li> <li>・地層や化石から、どのようなことがわかるか考える。</li> <li>・海底でできた地層が見られる山脈や山地は、どのようにしてつくられたか考える。</li> <li>・地層から大地の歴史を読みとるには、どのようなことを調べてまとめればよいか考える。</li> </ul>

【評価について】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、実験、観察を行い科学的に探究すし表現している。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究し、意欲的に学習に取り組む。
方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・実験・観察記録など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・実験・観察記録など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・提出物</li> <li>・小テスト</li> <li>・実験・観察記録など</li> </ul>

# 音楽科の学習について（1年生）

## 1 音楽科の学習のねらい

中学校の音楽では、生涯を通して音楽を愛好し、音楽活動の楽しさや喜びを得て、豊かな情操を養うことをめざしています。授業の内容は、表現と鑑賞です。

### (1) 表現の活動

- 歌 … 斉唱・合唱を行います。
- 器楽 … リコーダーを中心に、独奏やアンサンブルを行います。

### (2) 鑑賞の活動

- 聴くこと… 音楽を構成する要素に注意しながら、さまざまな音楽を鑑賞します。

## 2 主な学習内容

前 期	後 期
心を伝えあう歌い方 ・校歌 ・We'll Find The Way 他 旋律のまとまりとハーモニー ・主人は冷たい土の中に ・エーデルワイス ・リコーダー レッスン1 聖者の行進 喜びの歌 他 情景と音楽の関わり ・「春」第1楽章 ・浜辺の歌 混声合唱の響き① ・その先へ ・夢の世界を ・クラス合唱曲の選曲 ・クラス合唱曲の練習	混声合唱へのステップ① ・クラス合唱曲の練習 詩と音楽の関わり ・魔王 ・赤とんぼ 日本とアジアの伝統音楽 ・箏曲「六段の調」 ・さくら さくら ・雅楽「平調 越天楽」 ・日本の民謡 ・アジアの諸民族の音楽 混声合唱へのステップ② ・「旅立ちの日に」 ・市歌・校歌・仰げば尊し 音楽の楽しさ ・リコーダーアンサンブル

## 3 授業の約束について

### (1) 持ち物

週1時間の授業は大変貴重です。まず、忘れ物をしないで下さい。持ってくる物は次の通りです。

- 教科書類 1年生の教科書、器楽、コーラスステージ
- ファイル 配られたプリント類を入れておく
- リコーダー
- 筆記用具

教科書類も多いので、できるだけ一つの袋に入れてきて下さい。

その日に使う物を忘れた場合、他のクラスの人から借りてきても用意して下さい。それもできない場合、忘れ物を減点としてチェックします。

### (2) 授業の受け方

①よりよい表現をするために、まずはいつもいい姿勢を保つようにしましょう。

先生はポイントをアドバイスします。他のパートや人への注意でも、自分に対することのように受け止めるよう心がけてください。しかし何といても、とにかく練習をしないことには進歩はありません。

週に1時間しかない短い音楽の時間を大切にしましょう。

②特に合唱ではパート練習が大切になります。パートリーダー、ピアノリーダーを中心に自分たちでできることを積極的

に協力してやっていきましょう。

- ③表現活動を積極的にするのと同じくらい、耳をよく使うことも大事です。無駄なおしゃべりはつつしみ、表現するときも鑑賞するときも音に集中しましょう。
- ④普段から音楽に関連するいろいろなことに関心を持ちましょう。音楽室の廊下の掲示板にもさまざまな情報がありますので、授業で音楽室に来たときに見てみましょう。

## 4 評価について

評価は3つの観点（①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度）を3つの段階（A 十分満足できる B 目標に到達している C 努力を要する）で行います。

### ①知識・技能

- ・積極的に表現活動をするための発声や楽器で表現する基礎的な力がついているかを見ます。実技テストやワークシートで見ます。

### ②思考・判断・表現

- ・音楽の特徴や良さを受け止めているか、またそれを表現に生かそうと工夫しているか、また、曲の雰囲気やいろいろな要素を聴き取り、文化や歴史とかかわらせながら自分なりの音楽観を広げようとしているか見ます。実技テストやワークシートで見ます。

### ③主体的に取り組む態度

- ・学習内容に対する取り組み状況、授業中の発言の内容、忘れ物の有無、提出物の有無を見ます。なお、①～③のどの項目にも、期末テストの一部が入ることがあります。

## 5 音楽科の学習方法

### (1) 音を大切にする

- ・何と言っても歌ったり、楽器を演奏しないことには始まりません。初めは自信がなくても続けて取り組むことで音にも慣れていき、上達してきます。積極的に表現活動をしていこうとする姿勢が大切です。
- ・表現活動を積極的にするのと同じくらい、耳をよく使うことも大事です。無駄なおしゃべりはつつしみ、表現するときも鑑賞するときも音に集中しましょう。

### (2) よりよい表現のために

- ・音楽に積極的に取り組めば取り組むほど、よりよい表現をしたくなるものです。そのためには、個人の意欲も大切ですが、クラスの雰囲気も大きく作用します。積極的に授業に取り組む明るいクラスでは、全体の前向きな雰囲気が個人の力を伸ばします。表現活動は時に、体を使うことで恥ずかしさを感じたり、思うようにいかないこともあるかもしれませんが、仮に失敗をしても、その意欲を認め合う雰囲気が欲しいものです。
- ・よりよい表現をするために、まずはいつもいい姿勢を保つようにしましょう。先生はポイントをアドバイスします。他のパートや人への注意でも、自分に対することのように受け止めるよう心がけてください。しかし何といても、とにかく練習をしないことには進歩はありません。短い音楽の時間です。とにかく一生懸命に取り組むことです。
- ・特に合唱ではパート練習が大切になります。パートリーダー、ピアノリーダーを中心に自分たちでできることを積極的に協力してやっていきましょう。

### (3) 授業以外でも

- ・いろいろな音楽に関する情報が私たちの身の回りにあふれています。普段から生活の中で、自分の好きな音楽を中心にいろいろなジャンル・民族・時代の音楽にふれて関心を広げていくことが大切です。
- ・音楽室の廊下の掲示板にも、いろいろな高校や各種団体のコンサートのポスターや音楽に関する記事などを掲示してあります。音楽室に来るときにぜひ見てください。
- ・何より、本物の音楽に触れることが大切です。授業で接することのできる音楽は限られています。機会があれば積極的に音楽会などに出かけて、自分の音楽の世界を広げていきましょう。
- ・音楽は人の活動ですから、歴史や文化と深く関わっています。社会・国語・英語・美術など中心に他の授業もしっかり受けましょう。

# 第1学年 美術科 学習案内

学習案内		領域分野	学習のねらい
前期	・水彩画の技法	絵画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な技法を理解し発想構想をする。</li> <li>・主題や意図に合った材料や技法を工夫する。</li> <li>・展示したときの効果について考える。</li> </ul>
	・なぜか気になる情景	絵画 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水彩画の表現について興味を持って意欲的に制作する。</li> <li>・表現したいものを発想し、構図などを工夫して表現する。</li> <li>・構図の取り方、色彩のポイントを理解して思いを効果的に表現する。</li> <li>・水彩の表現がもたらす効果を感じながら鑑賞する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色で伝える シンボルマーク</li> <li>・文字が生み出す イメージ</li> <li>・見るひとへ 楽しく伝えよう</li> </ul>	デザイン 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようにしたら、相手に伝わるか考えながら発想構想する。</li> <li>・様々な表現方法を知り、意欲的に制作をする。</li> <li>・目的に適した表現方法を検討し、表現の幅を広げ効果的に提案する。</li> <li>・アイディアや伝達方法に注目して鑑賞する。</li> </ul>
後期	・材料に命を吹き込む	彫刻 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体に表現する楽しさや美しさに興味をもつ。</li> <li>・動物の姿を観察し、効果的に対象を表現するために工夫する。</li> <li>・構想に適した材料や表現方法を選んで制作する。</li> <li>・動きの捉え方や面白さを味わいながら鑑賞する。</li> </ul>
	・暮らしの中の木の工芸	デザイン 工芸 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な表現方法を知り、意欲的に制作をする。</li> <li>・技法を理解し、そこから表現の幅を広げ制作する。</li> <li>・道具を使いこなし、自分の表現したいものを制作する。</li> <li>・様々な技法の効果を感じながら鑑賞する。</li> </ul>
	・絵の中にある物語	絵画 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものの見方、とらえ方に興味を持ち製作する。</li> <li>・描きかたの知識を学びながら工夫して発想構想する。</li> <li>・道具の特徴を理解し、工夫して使いこなす。</li> <li>・動きの捉え方の面白さを味わいながら鑑賞する。</li> </ul>

○観点別の目標（評価の方法）

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫して材料や用具の特性をいかし制作を行えているか。	作品 授業中の様子 提出物 プリント等 デザイン 振り返り 鑑賞 等 定期テスト (学科・実技)
思考・判断・表現	・対象を良く見つめ、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方をを深めているか。	
主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、授業に主体的に取り組む美術を愛好する心情を深めているか。	

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
前 期	【体育理論】 授業の学び方	・授業の行い方を理解する
	【体づくり】 新体力テスト・吉中集団行動 体力を高める運動・ラジオ体操	・自分の体力を知る ・体力テストを行い、自己の体力を知る ・体力の必要性を理解する ・一斉指導により、運動の行い方を習得する
	【球技Ⅰ】 ○ソフトボール・バスケットボール 目標と課題の設定・練習計画の作成・課題別学習・ゲーム	・課題解決の練習を行う ・ルールを工夫してゲームを行う ・学習の進め方を理解する ・基本的な技能を習得するような課題を設定する ・ルールを工夫し、ゲームの仕方を理解する
	【水泳】 クロール・平泳ぎ・背泳ぎ	・安全に留意して活動する（ハイドシステム） ・能力別に班編成を行い、特に長く泳げるようにする の知識を確認する
後 期	【陸上競技】 短距離走・リレー・走り幅	・競争したり目標記録に挑戦して記録の向上を目指す ・タイム、距離に挑戦する
	【陸上競技】 ○長距離走 ・ジョギング・タイム走 ・インターバルトレーニング	・自己の目標記録に挑戦し、記録の向上を目指す ・自分の能力にあった練習の距離を見つける ・タイム、距離に挑戦する
	【武道】 ○柔道 ・基本技能（受け身・寝技）	・礼儀作法や基本動作の大切さを理解する ・安全に配慮・十分な注意をする ・各自の課題を明確にする ・互いにアドバイスを ・学習資料を利用し、技を理解する
	【器械運動】 ○マット運動	・公正な審判ができるようにルールをしっかりと理解する ・自己の能力に合う技を選んで学習する ・仲間と互いにアドバイスしたり、補助をしたりする ・器具の準備や片付けを協力して行う
	【体づくり運動】 ○体力を高める運動（縄跳び） ・サーキットトレーニング	・自分の体力を知る ・体力テストを行い、自己の体力を知る ・体力の必要性を理解する。 ・一斉指導により、運動の行い方を習得する
	【球技Ⅱ】 ○卓球・サッカー 簡易ゲーム	・ゲーム的な練習から基本的技能を身につける ・ゲームを通して自分のチームの弱点を知り、上達させるための練習が工夫する ・自分の役割を果たし、グループで協力して活動する
	【ダンス】 ○現代的なリズムのダンス ・ヒップホップ	・リズムに合わせて、表現する ・発表し、グループで協力し合える
【保健】 心身の機能の発達と心の健康	・保健学習の大切さを理解する ・発達には個人差が大きいことを理解する	

評価について

評価の観点	(ひとつ)の具体的な例	方法等
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	服装等が正しく安全である 大きな声を出し、仲間と協力し、積極的に授業に取り組もうとしている	・行動観察 ・学習カード ・アンケート
運動や健康・安全についての思考・判断	課題に気づき練習等を工夫することができる 次に繋がる学習のまとめや振り返りをしている	・感想文 ・ゲーム分析表
運動の知識及び技能	基本の技を身に付けている より高い記録・結果を出している ゲームの進め方やルールを理解している 技の名称や、作戦を理解している	・定期テスト



# 技術・家庭科（技術分野）学習案内

## ○技術分野の目標

- 生活や社会で利用されている技術を理解し、技能を習得しよう。
- 生活や社会の中の技術に関わる問題を見つけ、課題を解決する力を身に付けよう。
- 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする態度を身に付けよう。

## ○授業の約束

### 話を聞くとき

- ・顔を上げて前を向こう!
- ・ひざを先生に向けよう!
- ・腰骨を立てよう!

### 作業をするとき

- ・服装を整えよう!
- ・必要のない道具はすべて机の下の棚にしまおう!
- ・イスをしまつて立って作業をしよう!

## ○学習の流れ（1年生）

前期	<b>学習内容</b>	<b>学習のねらい</b>
	<p>内容 A 材料と加工の技術</p> <p>身近な生活の問題を見つけ、木工品を工夫して解決できるか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木材の切削、切断、といった加工の特性についての原理・法則と切断や切削、穴あけ、接合、塗装の加工の方法の基礎的な材料と加工の技術の仕組みを理解する。</li> <li>○材料の組織や成分、圧縮、引張、曲げ等に対する力学的な性質といった材料の特性等の材料についての原理・法則と、材料の組織を改良する方法や、断面形状や部材の構造を含めた材料を成形する方法等の基礎的な材料の技術の仕組みを理解する。</li> <li>○等角図及び第三角法を用いて、製作に必要な図をかくことができるようにする。</li> <li>○材料と加工の技術が、社会からの要求、耐久性や機能性、生産効率、環境への負荷、資源の有限性などに着目し、組み合わせる部材の構造、加工の特性等にも配慮して、最適化されてきたことに気付く。</li> <li>○生活の中から材料と加工にの技術に関わる問題を見出し、現状をさらによくするための解決すべき課題を設定する。</li> <li>○課題の解決策を条件を踏まえて設計し、試作を通して解決策を具体化する。</li> <li>○具体化した解決策の解決活動として、製作を行う。</li> <li>○解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する。</li> <li>○材料と加工の技術についての概念の理解を深め、よりよい生活に向けて、技術を評価し、選択することについて考える。</li> </ul>
後期	<b>学習内容</b>	<b>学習のねらい</b>
	<p>内容 D 情報の技術</p> <p>学校の問題を見つけ、プログラムを工夫して解決できるか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の表現、記録、計算についての科学的な原理・法則と、情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解する。</li> <li>○情報の通信についての科学的な原理・法則と、情報の処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解させるとともに、情報の技術の見方・考え方に気付く。</li> <li>○情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決する力を身に付ける。</li> <li>○自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>

## ○評価について

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会の中にある技術について理解しているか。</li> <li>・技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているか。</li> <li>・生活や社会の中にある技術に関わる技能を身に付けているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオ</li> <li>・提言レポート</li> <li>・定期テスト</li> <li>・作業、製作品</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会の中にある問題を発見し、改善のための課題を設定しているか。</li> <li>・課題の解決に向けて解決策を構想したり、自分の取り組みを振り返って改善しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオ</li> <li>・設計、製作レポート</li> <li>・提言レポート</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術分野への学習を粘り強く取り組もうとしているか。</li> <li>・粘り強い取り組みの中で問題解決のために折り合いをつけようとしているか。</li> <li>・学習した知識や経験を生かして技術を工夫し創造しようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオ</li> <li>・製作レポート</li> <li>・提言レポート</li> </ul>

# 第1学年 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

領域	学習内容	学習のねらい
A 家族・ 家庭生活	ガイダンス [自分の成長と家族を知ろう] ① 自分の成長と家族 ② 家族・家庭の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり、支えてくれた人について考えることができる。</li> <li>・家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。</li> <li>・これからの家族関係をよりよくする方法を考えることができる。</li> </ul>
B 衣食住の 生活	[健康に生きるため、食生活を見直そう] ① 食事の役割 ② 健康によい食習慣 ③ 体に入った栄養素のゆくえ ④ 栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ⑤ 食品が食卓にのぼるまで ⑥ 生鮮食品の選択と保存 ⑦ 加工食品の選択 ⑧ 食品の安全と情報 ⑨ おいしさと調理 ⑩ ますます好きになる肉の調理 ⑪ こんなにおいしい魚の調理 ⑫ 好きになる野菜の調理 ⑬ あと一品つくってみよう ⑭ 栄養満点の弁当を作ろう [安全に快適に住もう] ① 住まいのはたらき ② 住まいの空間 ③ 家庭内事故への備え ④ 災害への備え ⑤ 持続可能な住生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食生活に関心をもつことができる。</li> <li>・健康によい食習慣について考え、よりよい食生活を工夫することができる。</li> <li>・栄養素の種類と働きに関する学習を通して食事の役割と中学生に必要な栄養の特徴を理解する。</li> <li>・中学生に必要な栄養量を満たす1日分の献立を工夫してたてることができる。</li> <li>・生鮮食品と加工食品の表示の意味、食品にふさわしい保存方法について理解する。</li> <li>・必要な情報を正確に読み取り、用途に応じた選択ができる。 (目的・栄養・価格・調理の能率・環境への影響など)</li> <li>・魚、肉、野菜の調理上の取り扱い方がわかり、調理に必要な手順や方法を計画立てて調理することができる。</li> <li>・安全と衛生に留意して食品や調理用具等の適切な管理ができる。</li> <li>・栄養バランスの整った1食分の献立を考え、お弁当を作ることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家族の住空間に関心をもつことができる。</li> <li>・住居の基本的な機能や安全に配慮した室内環境の整え方を理解する。</li> <li>・安全で快適な住まい方を考え、工夫することができる。</li> </ul>

## 評価の観点・方法

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時の様子、作品</li> <li>・実技テスト</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子</li> <li>・学習プリント</li> <li>・定期テスト</li> <li>・作品</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習態度</li> <li>・学習プリント</li> <li>・定期テスト</li> </ul>



## 第1学年 外国語科 学習案内

	題 材	題材の目標	学習内容
前 期	Round 1 Unit 1 ~ Unit 8	・ピクチャーカードを見ながら本文を聞き、概要をとらえ、順番に並べかえることができる。	・アルファベット ・数字、誕生日、好きなもの ・身の回りのものを英語で言う ・英語のあいさつ ・be 動詞の肯定文、否定文、疑問文
	Round 2 Unit 1 ~ Unit 8	・教科書の本文を聞きながら、内容にそって英文を並べ替えることができる。	・一般動詞の肯定文、否定文、疑問文 ・can を使った文
	Round 3 Unit 1 ~ Unit 8	・教科書の本文を、正しく読んだり、気持ちを込めて読んだり、本文を転写することができる。	・自己紹介と周りの人の紹介、代名詞 ・疑問詞のある疑問文 (what, who, where, when, whose, which, how)
	Round 4 Unit 1 ~ Unit 4	・教科書の本文に設けられた空欄をうめながら本文を読んだり、書いたりすることができる。	・動名詞 ・want to + 動詞の原形 ・命令文 ・動詞の (e)s 形と疑問文・否定文 ・過去形 ・感嘆文 ・現在進行形 ・過去進行形
後 期	Round 4 Unit 5 ~ Unit 8	・教科書の本文に設けられた空欄をうめながら本文を読んだり、書いたりすることができる。	・be 動詞の肯定文、否定文、疑問文 ・一般動詞の肯定文、否定文、疑問文
	Round 5・6 Unit 1 ~ Unit 8	・ピクチャーカードを使い、教科書の内容を自分の言葉で話したり、書いたりすることができる。	・can を使った文 ・自己紹介と周りの人の紹介、代名詞 ・疑問詞のある疑問文 (what, who, where, when, whose, which, how) ・動名詞 ・want to + 動詞の原形 ・命令文 ・動詞の (e)s 形と疑問文・否定文 ・過去形 ・感嘆文 ・現在進行形 ・過去進行形

### 評価について

評価の観点	具体的な例	方法等
○知識・技能	現在進行形の特徴やきまりを理解している。 現在進行形の特徴やきまりの理解を基に、教科書の内容を聞き取る技能を身に付けている。	・定期テスト ・単語テスト ・基本文テスト
○思考・判断・表現	教科書の登場人物の気持ちを理解し、要点を聞き取っている。	・定期テスト ・作品 ・リーディングテスト ・インタビューテスト ・スピーチ
○主体的に学習に取り組む態度	教科書の登場人物の気持ちを理解し、要点を聞き取ろうとしている。	・授業態度 ・提出物

1 1

時期	教材名	出典	配当 時数	学習指導要領の内容項目
前期 16時間	1 「どうせ無理」という言葉に負けない	新しい道徳 東京書籍	1	A(5) 真理の探究、創造
	2 本が泣いています	新しい道徳 東京書籍	1	C(12) 社会参画、公共の精神
	3 朝市の「おはようございます」	新しい道徳 東京書籍	1	B(7) 礼儀
	4 いじめに当たるのはどれだろう	新しい道徳 東京書籍	1	C(11) 公正、公平、社会正義
	5 傍観者でいいのか	新しい道徳 東京書籍	1	A(1) 自主、自律、自由と責任
	6 風評被害	新しい道徳 東京書籍	1	B(9) 相互理解、寛容
	7 山に来る資格がない	新しい道徳 東京書籍	1	A(2) 節度、節制
	8 道徳 × 情報モラル SNSに友達の悪口を書くと	新しい道徳 東京書籍	1	B(8) 友情、信頼
	9 新しいプライド	新しい道徳 東京書籍	1	C(13) 勤労
	10 父の手作りのベンチ	新しい道徳 東京書籍	1	C(10) 遵法精神、公德心
	11 山岳民族の文化を守る	新しい道徳 東京書籍	1	C(18) 国際理解、国際貢献
	12 見えない親切	新しい道徳 東京書籍	1	B(6) 思いやり、感謝
	13 いのちって何だろう	新しい道徳 東京書籍	1	D(19) 生命の尊さ
	14 決断！ 骨髄バンク移植第一号	新しい道徳 東京書籍	1	D(19) 生命の尊さ
	15 道徳 × 防災 夕暮れどきの避難	新しい道徳 東京書籍	1	D(19) 生命の尊さ
	16 金賞を目指して	新しい道徳 東京書籍	1	C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
後期 19時間	17 私はここにいる — 倉橋香衣	新しい道徳 東京書籍	1	B(9) 相互理解、寛容
	18 道徳 × 情報モラル よごれた教科書	新しい道徳 東京書籍	1	A(2) 節度、節制
	19 最後の思い出	彩の国の道徳 未来に生きる	1	B(8) 友情、信頼
	20 裏庭での出来事	新しい道徳 東京書籍	1	A(1) 自主、自律、自由と責任
	21 ぼくのふるさと	新しい道徳 東京書籍	1	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
	22 思いやりの日々	新しい道徳 東京書籍	1	B(6) 思いやり、感謝
	23 ごみ箱をもっと増やして	新しい道徳 東京書籍	1	C(10) 遵法精神、公德心
	24 銀色のシャープペンシル	新しい道徳 東京書籍	1	D(22) よりよく生きる喜び
	25 私の「ふつう」と、あなたの「ふつう」	新しい道徳 東京書籍	1	C(11) 公正、公平、社会正義
	26 NHK番組「ココロ部！」 ぼくらの村の未来	新しい道徳 東京書籍	1	D(20) 自然愛護
	27 靴	新しい道徳 東京書籍	1	C(14) 家族愛、家庭生活の充実
	28 古都の雅、菓子的心	新しい道徳 東京書籍	1	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
	29 震災の中で	新しい道徳 東京書籍	1	C(12) 社会参画、公共の精神
	30 「看護する」仕事	新しい道徳 東京書籍	1	C(13) 勤労
	31 火の島	新しい道徳 東京書籍	1	D(21) 感動、畏敬の念
	32 自分の性格が大嫌い！	新しい道徳 東京書籍	1	A(3) 向上心、個性の伸長
	33 詩画にあしたをたくして — 星野富弘	新しい道徳 東京書籍	1	A(4) 希望と勇気、克己と強い意志
	34 郷土を彫る	新しい道徳 東京書籍	1	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
	35 いつわりのバイオリン	新しい道徳 東京書籍	1	D(22) よりよく生きる喜び

# 令和 8 年度 総合的な学習の時間 学習案内

## 各学年の総合的な学習年間活動計画

	1 年生	2 年生	3 年生
4 月	○ガイダンス(1) ・キャリアパスポート ○SST(1)	○ガイダンス(1) ・キャリアパスポート ○SST(1)	○ガイダンス(1) ・キャリアパスポート ○SST(1)
5 月	・「考える」スキル ○体育祭を成功させよう(7) ・各種目練習	・集団生活に必要なスキル ○体育祭を成功させよう(7) ・各種目練習	・自分の気持ちを伝えるスキル ○日本の文化に学ぼう(修学旅行)(18) ・京都の文化に学ぶ
6 月	○平和について学ぼう(校外学習)(7) ・平和資料館で平和について学ぶ ○ふくしの授業(3)	○上級学校について調べよう(8) ・上級学校に関する様々な情報を収集する ○ふくしの授業(3)	○ふくしの授業(3)
7 月	・福祉について学び、よりよい交流方法を知る ○平和について学ぼう(校外学習)(4)	・福祉について学び、よりよい交流方法を知る ○上級学校について調べよう(4)	・福祉について学び、よりよい交流方法を知る ○日本の文化に学ぼう(修学旅行)(8)
8 月	・学びをもとに恒久の平和について考える	・整理、分析 ・まとめ、発表	・京都の文化に学ぶ
9 月	○銀杏祭を成功させよう(7) ・装飾づくり、クラス合唱等	○SST(1) ・感情を扱うスキル ○銀杏祭を成功させよう(6)	○SST(1) ・感情を扱うスキル ○銀杏祭を成功させよう(6)
10 月	○SST(1)	・装飾づくり、クラス合唱等 ○体験学習から学ぼう(林間学校)(13)	・合唱、装飾
11 月	・集団生活に必要なスキル ○働く人から学ぼう(職場体験)(7)	○未来の自分・なりたい自分について考えよう(立志式)(10)	○SDGsについて学ぶ(4) ・SDGsについて調べ、考える。
12 月	・働く意義について考える ・地域の職場で体験学習 ○SDGsについて学ぼう(4) ・SDGsについて調べ、考える。	・未来の生き方を考え、自分なりに表現し発表する ○感謝の気持ちを伝えよう(6)	○夢の実現に向けて(8) ・進学について考える ・面接練習
1 月	○感謝の気持ちを伝えよう(6)	・三送会準備 ○修学旅行の下調べ(6)	・入試の心構え ・入試の手続き
2 月	・装飾づくり、学年出し物等	○京都の寺社、仏閣について調べる	○中学校生活のまとめをしよう(12) ・手紙、メッセージ ・先輩から後輩へ(受検体験談)
3 月	○自分自身について考えよう(2) ・1年間を振り返り、自分を知ろう ・キャリアパスポート	○自分自身について考えよう(2) ・1年間を振り返り、自分を知ろう ・キャリアパスポート	・感謝の会 ・奉仕作業 ・キャリアパスポート

修学旅行： 6 月 5 日(金)～ 6 月 7 日(日) 【第 3 学年】

校外学習： 7 月 2 日(水)～ 7 月 4 日(金) 【第 1 学年】

職場体験活動： 12 月 9 日(水)～ 12 月 11 日(金) 【第 1 学年】

林間学校： 12 月 10 日(木)～ 12 月 11 日(金) 【第 2 学年】